

Peach のアドバイザーに ライアンエア元会長のパトリック・マーフィーが就任

Peach Aviation 株式会社(代表取締役 CEO:井上慎一、住所:大阪府泉南郡田尻町、以下 Peach)は、本日、Peach のアドバイザーとしてライアンエア(Ryanair)元会長、パトリック・マーフィー(Patrick Murphy)の就任が決定したことを発表しました。今後、Peach は同氏の助言のもと、2012年3月の就航に向け、既存の航空会社とは異なる ビジネスモデルを構築してまいります。

パトリック・マーフィーは、アイルランド生まれ。ユニバーシティカレッジダブリンを卒業した後、ヨーロッパで航空産業に従事。1991年から1994年までは、ライアンエアの会長を務め、この間ライアンエアを、いわゆるフルサービスキャリアから LCC*へと転換させ、ヨーロッパ最大規模の航空会社へと成長させました。その後も、世界中の航空業界でコンサルタントやアドバイザーとして活躍しています。

Peach の代表取締役 CEO・井上慎一は以下のようにコメントしています。
「このたび、パトリック・マーフィー氏をアドバイザーとして Peach にお迎えできることを心から歓迎しています。Peach がこれまでの既存の航空会社とは全く異なる LCC のビジネスモデルを追求していくにあたり、これほど頼もしいパートナーは他にいないと考えています。この心強いアドバイザーとともに、今後、関係各位および日本・アジアの皆様のご協力をいただきながら、2012年3月の就航に向け、さらなる準備を進めてまいります」

Peach は、関西国際空港を拠点として、2012年3月に大阪(関西)ー札幌(新千歳)、福岡を結ぶ国内線を就航させ、2012年5月には、大阪(関西)ーソウル(仁川)を結ぶ国際線を就航させるよう国土交通省へ事業認可を申請中です。

Peach Aviation 株式会社について (www.flypeach.com)

Peach は、日本で初めての本格的 LCC 航空会社として、2011年2月に発足しました。関西国際空港を拠点として、2012年3月の就航開始を計画しています。

Peach は、航空における新たな価値・選択肢を生み出します。成長著しいアジア市場の需要を開拓することで、アジアと日本の新たな懸け橋となることをビジョンとし、日本各地、および日本とアジアを結ぶ新たな航空ネットワークを創造します。安全を大前提として、これまでの航空とは異なる仕組みから安定的な低コスト体制を実現し、365日低運賃を提供することをミッションとしています。

*LCC とは、Low Cost Carrier (ローコストキャリア)の略で、業務の効率化により、コストを削減して、手頃な価格のフライトを提供する航空会社の総称です。